



2月後半、3月前半の児童朝会での話を簡潔にまとめて紹介します。

2月26日 「うるう日の六年生を送る会」

今週の金曜日には、3月になります。以前にお話したように、1月は行く、2月は逃げる。2月は逃げてしまいました。3学期は、過ぎていくのが早く感じますね。

カワヅザクラの紹介ポスターを栽培委員会の人々が作って、5年生の廊下に貼って来ていましたが、校舎の南側花壇の近くにあるカワヅザクラが先週咲いていました。家のあたりでは、ウグイスが鳴き始めました。だんだん、春が近づいてきているんだなと実感します。

今週の木曜日は、2月29日です。いつもの年の2月は、28日までなのに、今年は29日があります。今年、1年が365日ではなく、366日ある年です。4年に1度、2月29日がある年をうるう年といい、付け加えられた29日をうるう日といいます。

4年に1度の、その珍しい1日にあるのが、6年生を送る会です。6年生は、今日を入れて、沖洲小学校に来るのが、14日間になります。

6年生の皆さんは、これまで、沖洲小学校のためにいろいろと活躍してくれました。特に1年生は、給食でお世話になりましたね。配膳をしてもらったり、ミルクパックのたたみ方を教えてもらったり（写真）、エプロンのたたみ方も教えてもらいました（写真）。また、1年生を迎える会では、素敵なメダルをもらいました（写真）。新体力テストでは、測定のお手伝いをしてもらったり、普段の生活の中でも、困ったことがあれば、優しく教えてくれました。

1年生にだけでなく、学校全体のために、水泳の授業ができるように、プール掃除をしてくれたり（写真）、運動会のお世話をしてくれました。普段も、委員会活動の中心となって、学校生活が気持ちよく送れるよう、役割を分担して、頑張ってくれました。また、金管バンドクラブの練習や発表会、陸上記録会などのいろいろな大会でも、その活動の中心となって活躍しました。

6年生の皆さん、本当に1年間ありがとうございました。

1年生から5年生の皆さんは、お世話になった6年生のために、この6年生を送る会を、みんなの感謝の気持ちを込めた会にしてほしいと思います。

また、6年生は、沖洲小学校を巣立つ卒業生として、残り14日間をどう過ごせばいいでしょうか？残り14日間で、6年生の最後を飾るすばらしい14日間になればいいと思います。

3月4日 「耳の日・聞く」

（まず、徳島の有名なものは？について確認）

さて、昨日3月3日は、ひな祭りの日とともに、耳の日でした。わたしたちは、この耳によって、みんなが話している声やいろいろな音を聞くことができます。今も、この話を皆さんは耳で聞いています。

では、「しっかり聞く」ということは、どういうことでしょうか？勉強しているときや大事なお話をするとき、担任の先生からも、よく聞く言葉だと思います。教室の前に貼ってある「きこうよ あいうえお」にもあるように、「いいしせいで」「うなずきながら」「えがおで」「おわりまできこうよ」もそれに当てはまると思います。

聞くためには、「目」 相手を見ながら聞くことも大切です。

さらに、学年が上がるに従って、レベルアップして、しっかり聞くというのは、「脳」を使って、「考えながら聞く」ことができるようになってほしいと思います。

何を話しているかを正確にわかるとともに、聞いているお話の中で、「なるほど！」と思うこと、「そうだったのか！」と思うこと、「私の考えと同じ！」と思うこと、逆に「私の考えとは違う」と思うこと、「なんでだろう？」とさらに不思議に思うことなどを見つけながら聞いてほしいと思います。

ぜひ、皆さんには、しっかり聞く力、考えながら聞く力を身につけてほしい、意識をしながらお話を聞いてほしいと願っています。